

長野県・新しい公共の  
場づくりのためのモデル事業

「東御の子どもの  
元気な育ちを支える  
ネットワーク」の取り組み

この取り組みは、公益財団法人身体教育医学研究所、特定非営利活動法人東御市体育協会、社会福祉法人みまき福祉会、東御市子育て支援課、東御市教育委員会、田中小学校、長野県次世代サポート課、長野県教育委員会スポーツ課が協力し、有識者や地域の力を借りながら、平成23年の秋から約1年半の間、活動してきたものです。  
この活動は、地域の方々からご理解いただき、共感していただける仲間を増やしながらかま長く続く活動にしていきたいです。



なぜ  
はじめたの？

昔に比べると、子どもたちが自ら進んで外で元気に遊ぶことが少なくなってしまうました。本来外遊びで育まれる体力や身のこなし、体験を通して培われる自主性や自信、そして、人と人との関係づくりなど、育ちに必要な経験を積み重ねるチャンスを失ってしまっていることが心配されます。しかしこれは、子どもたちが育ちやすい環境をつくれない大人や社会

きずなを育もう



どんなことを  
やったの？

子どもたちは、親子の関わり、地域の交わり、園や学校での様々な活動や学びなどを通して育っていきます。そのいろいろな場面で、子どもたちが育つチャンスとなる遊びのきっかけを作ることが重要と考え、いくつもの具体的な取り

組みを始めました。ただし、大人がお膳立てして「遊ばせる」という子どもたちにとって受け身なものではなく、子どもたちが自ら主体的に「遊ぶ」ことを、全ての活動において最も大切にしています。



どんないいことが  
あったの？

キラキラ参加の保護者からは、「毎回山歩きを楽しみ、気がつく」とハトハトに疲れてはいるのですが、気持ちは明るく、ぐっすり眠り、回復し、の繰り返しで体力をつけることができました。それが、子の自信につながっているように見えます。ドキドキ参加の子どもの保護者からは、「ドキドキ参加後は一言で終わることなく、どんどんあふれる様に話してくれます。よい成長につながっていることを実感しています。」といった前向きな感想を寄せていただきました。園や学校での活動についても、子どもたちがイキイキと取り組んでいる、子どもへの関わり方の参考になる、といった感想を先

外あそびを通して、子どもたちのからだ・こころ・



これから  
どうするの？

小学校でのしかけづくりは、市内の他校にも情報を提供して、活用していただけるように取り組んでいます。  
森での活動は、身近な自然の中でも活動ができて、より多くの子どもたちが参加できるようになることを望んでいます。そのためには、森の整備や、子どもたちの活動の見守り、といった地域の方々の協力や活動を維持するための資金的支援（スポンサー）も不可欠になってきます。興味のある方は、ネットワーク事務局までぜひご一報ください。

●問い合わせ先  
東御の子どもの元気な育ちを支えるネットワーク事務局  
(公益財団法人  
身体教育医学研究所内)  
☎61-6148

④小学校での遊びたくなる  
しかけづくり



田中小学校の協力により、今年度は、器械運動につながる体育館での遊び環境（サーキット）づくり、6年生が考えた遊具を活用した遊びのアイデアの掲示（看板づくり）、体育の授業をより良くするための先生たちとの勉強会や準備体操プログラムの作成などを行いました。学校は子どもたちが最も多くの時間を過ごす場所ですので、からだを動かして遊びたくなるしかけづくりはとても有効です。

③森の中で子どもが思い切り遊ぶ  
～里山探検活動・ドキドキの取り組み～



年中児から小学校1年生までの子どもたちが、月に2回、里山（四季の森）で活動します。これも特別なプログラムはありませんが、森の自然の中で、木登り、岩登り、水遊び、秘密基地づくりなど、子どもたち自身が興味を持って遊びこめる時間で、からだを動かすことに苦手意識があっても、楽しみながらどんどん動ける、そんな機会になっています。

②保育園での運動あそび



月1回の運動あそびを市内の全公立保育園で始めてまもなく4年が経過します。これも、子どもたちが大人の指示で「動かされる」のではなく、子どもたち自身が「動きたくなる」動きかけとなるような工夫を重ねてきました。園の先生たちが運動あそびを日々の保育に取り入れれたり、保護者参観で運動あそびを紹介して家庭での遊びにも活かされるように動きかけたりと、東御らしい「子育て」支援の一つとして定着しており、多くの方たちから関心を持っていただいています。

①森の中で親子の関わりを育む  
～里山探検サークル・キラキラの取り組み～



未就園の2～3歳の子どもとその保護者が、月に2回、里山（四季の森）で「お散歩」し、その中で子どもたちが興味を抱いて自ら始める遊びに、保護者やスタッフが寄り添いながら時間を過ごす活動で、特別なプログラムはありません。森の自然が子どもの関心や意欲を引き出しくれますので、そこで巻き起こる子ども同士や親子間の関わりを大切にしています。